

パルde子育て

第4号 2010年10月



パルコープ城東組合員会館に 常設型子育て広場「パルちゃん広場すくすく」がオープンしました

パルちゃん広場ぽっかぽかの活動を展開していく中で、いつもそこにあり、聞いてもらえる子育て支援の拠点「常設型子育て広場」の必要性が見えてきました。実現に向けみんなの知恵と力を寄せあって「パルちゃん広場すくすく」が2009年12月に誕生しました。

すくすくは、朝10時から午後3時まで出入り自由でのんびりと過ごすことができます。核家族化した現在、一日中子どもと向き合いっぱなしで時には誰かと話したい、子育てのいろいろな悩みや自分のことを聞いてほしいともんもんとした日々を送る人も多いのではないのでしょうか。私だけじゃないんだ、みんな同じよ。ひとりで子育てからみんなで子育てをめざし、へえそうなんやとほっとできる広場です。

スタッフは参加者に寄り添いながらいろんな話に耳を傾け、みんなの居場所作りをめざしています。参加する人は、お弁当を持って一日中ゆっくりする人、午前中で帰る人、午後から来る人など子どもの様子にあわせてさまざまです。仲間ができる中で何気なく気になっている事を話されるようになったり、スタッフの子育て経験などの話を聞いてホッとして帰られる様子もうかがえます。気持ちがゆっくりできることで「来てよかった」「また来ます」など感想が寄せられています。

実家に帰るように気軽に立ち寄れ、ちょっと息抜きし英気を養って、また頑張ろうという気持ちになれるような広場をめざし、大事に育てていきたいと思います。

ふるーむ・むじーくファミリーコンサート 開催!



昨秋、城東組合員会館にて『ふるーむ・むじーくファミリーコンサート』を開催しました。お天気を気かけながら準備を重ねて来ましたが、当日は開場時間前から数家族が来てくださり待つ様子が良好なスタートとなり、おとな51人子ども42人が集まり楽しい時間を過ごしました。

「ふるーむ・むじーく」のテーマソングから始まり観客は一気に音楽の世界へ。マリンバやヴァイオリンの生演奏では、最高潮に盛り上がり子どもたちは体を動かさずにはいられない様子で椅子をマリンバのかわりにして叩いたり、楽曲「情熱大陸」のリズムにのってヴァイオリンを弾くまねをしながら、お母さんと見つめ合って笑ったりと、とてもほほえましい光景が会場のあちらこちらで見られました。

後半は歌にちなんだ人形がとび出してみんなで合唱。「証城寺のためき囃子」では、お面をつけた飛び入りためきさんもとび出てきたんですよ。

終盤のおはなし音楽「となりのトトロ」では観客参加型で、まっくろくろすけが客席にとび込んだり、会場が一体となって、おとなも子どももみんなで楽しみました。

終了後のアンケートから「ふだん目にしない楽器が近くで見られてよかった」や「家族で楽しめて良かった」「毎年開催されれば…」また、小さな子どもたちの感じたままの絵を頂くなど、とても嬉しくスタッフの栄養剤にもなりました。

親子で文化に親しむ機会が少ない中で、子どもを連れて気軽に音楽に親しめる貴重な時を持つことができました。これからもみんなの力で、このような場を作ることが大切だと改めて感じました。



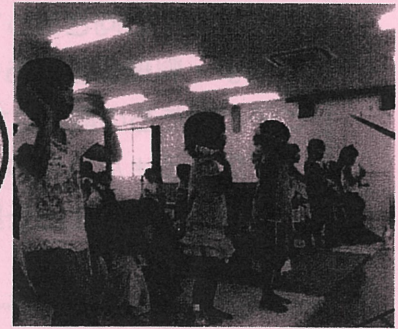
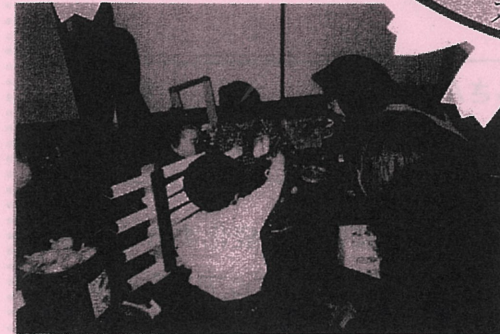
守口 1月の広場はおもちゃでゆっくりのんびり遊んだあと、お母さんたちはコーヒーでリフレッシュタイムをすごしました。その後「紙遊びで楽しもう!」と、参加者それぞれ新聞紙を持ち「せーのーで」で、おもいきりビリビリビリ! やぶったり、とばしたり、まるめたり、紙吹雪が舞いちり、紙のプールで泳いだりして家ではできない遊びを体験しました。お母さん子どもも短い時間ですがストレス発散して楽しい時間を過ごしました。



あべの 開催月に合わせた簡単なリサイクル工作は、毎回好評です。広い会場とたくさんのおもちゃ、そしておしゃべりとコーヒータイムで、親も子どももスタッフもリフレッシュ!! 参加者から広場スタッフになった先輩ママは、お母さん達と一緒に情報交換をしています。CDの曲に合わせてながらの手あそびも、広場の雰囲気盛り上げています。



パルちゃん広場ぽっかぽか
「ひとりで子育てからみんなで子育て」をテーマに親子がともに「ホッ」とし、リフレッシュでき、子ども達の成長を共に喜び、元気な心で子育てができるようスタッフ全員が心がけ活動しています



寝屋川 10時半から1時半まで、月1回開催しています。ゆっくりとした時間の中で、お母さんたちは、子育て情報を交換したり、ほっと一息の時間を。子どもは同じくらいの子もたちと遊んでふれあいを楽しんでいます。お屋にはスタッフの愛情がこもった手作りの軽食をみんなでいただきます。味はもちろん大好評!! パクパク春休みや夏休みには、コンサートや人形劇を取り入れてかつて広場に参加していた子どもたちや、参加者のお兄ちゃん、お姉ちゃんもいっしょに楽しめるような広場にしています。みんなで子育て楽しみましょう!



城東 毎月2回開催し、2010年3月には開催数100回、5周年を迎えました。会館の周りにはマンションが増え、まだまだ住んでいる地域のことを知らない人や、生協に新しく加入して初めて会館を知った方も広場に来ています。親と子とスタッフの交流の場になり、広場でいろいろな情報を得て、行動範囲を広げていききっかけにもなっています。「チョット元気になって楽しい時間を過ごせたらいいなあ」先輩ママともおしゃべりしてみませんか!

つるみ店 パルコープつるみ店の2階で、月1回開催しています。毎回たくさんの親子が参加され、にぎわっています。広場は親子ともども楽しくお友だちとの交流ができ、帰りに1階の店舗で買い物もできるのでとっても便利。参加された方の「新しいおもちゃがたくさんあって楽しく遊べました」「コーヒーで一息つけてよかった」などの声を聞くとスタッフもうれしくなります。「みんながホッとできて、なごやかな話し声や笑い声が聞こえる広場にしたいなあ」と、思っています。

たべる*たいせつキッズクラブ

2009年度から小学生を対象にした生協の通信制食育プログラムがはじまりました。食べることは子どもの成長にかかせない大きな仕事です。「甘い」「苦い」など味覚を育てることも大事ですが、家族で囲む食卓は子ども達のすこやかな心を育てるフィールド（畑）です。

キッズクラブの子どもたちが送ってくれるおたよりの向こうには、食卓を囲む暖かい家族の姿が見えてきます。返事を書くサポーターは、子どもたちのいきいきした絵や言葉に心をなごませながら、真剣におたよりに向きあっています。家族ぐるみでの産地見学・料理教室もあり食材の話・自分で作る事など子どもたちの興味はつきません。

「たべる*たいせつキッズクラブ」は子どもたちのこれからの食生活を豊かにしていく新しい取り組みです。



↑お返事を書いている
サポーターのみなさん

↓キッズクラブの教材
です♪



絵本紹介

～今ある自分から新しい一歩を
踏み出そう～

「こすずめのぼうけん」 福音館書店
ルース・エインズワース 作
石井 桃子 訳
堀内 誠一 画

「はじめてのかり」 リブリオ出版
吉田 遠志 絵と文

探究心や好奇心によって行動し、失敗しても暖かく包み込んでくれる場所がある。そこで気持ちを立て直し、次の一歩をまた踏み出せる。そう感じる絵本です。どちらの本も最後のページの安心しきった主人公の顔に注目。つい微笑んでしまいますよ。

「おじさんのかさ」 講談社
佐野 洋子 作・絵

今自分のいる状況に満足し変化することを拒んでいたが、周りの影響によって自ら一歩踏み出す。それぞれが成長しバックに描かれている絵までも変化している様に見える絵本です。

=図書館や本屋さんで見つけてくださいね=

編集後記

ひさしぶりの「パルde子育て」発行。
ファミリーコンサート、
パルちゃん広場ぽかぽか・すくすく
たべる*たいせつキッズクラブ
新しい取り組みもはじまり楽しい企画がいっぱい。

紙面作りに 協力くださった皆さん
ありがとうございました。

～ お問い合わせ先 ～

おおさかパルコープ
組合員活動サポートセンター

TEL 0120-299-244

FAX 0120-299-230

発行 2010年10月
おおさかパルコープ
子育てサポートステーション